

# 高校第2学年地歴科学習指導案

期 日：令和5年12月18日  
時 間：第3校時  
対 象：第2学年D組4名  
学校名：私立清心女子高等学校  
授業者：山本 祐輔

## 1 単元（題材）名

「世界システム論で見る世界史」

## 2 単元（題材）の目標

- (1)国際的な分業体制と労働力の移動，イギリスを中心とした自由貿易体制について理解することができる。
- (2)世界市場の形成に関わる諸事情の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりに着目し，イギリスの覇権の特徴を多面的・多角的に考察できる。
- (3)自身で世界市場に関心を持ち，自律的に学習を計画することができる。

## 3 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「世界システム論」の考え方をを用いて，当時の国際関係を理解することができる。	「世界システム論」の考え方をを用いて，当時の世界の関係性を説明することができる。	学習の前後で「世界市場」に関する問いの答え方に変化が見られる。

## 4 指導観

### (1)単元（題材）観

本単元は，昨年までに歴史総合で学習している大航海時代やイギリスの産業革命を，「世界システム論」という異なるレンズで見ることを目的としている。歴史は一般的には「時間軸」という見方を用いて説明されることが多い。しかし，近年求められる見方・考え方では，事象の相互関係や因果関係など，「時間軸」に加え「空間軸」も重要な要素になってくると考える。世界史の授業では，「空間」毎に「時間軸」をもとに説明がされることが多いため，多角的な視点を獲得するため，「世界システム論」という異なる見方で歴史を俯瞰する。

### (2)教材観

世界システム論では覇権国・中核国・周辺国の意味を理解する必要がある。歴史の具体的な事例を学習したうえで，現代に置き換えて考えるなど，学習した概念を転用させていくことを目指す。

### (3)生徒観

少数で行われている授業である。生徒ははじめに授業を聞き，板書を取ることができる。一方で，板書を取ることに集中しすぎ，授業者が伝達したい内容を聞き逃す姿も見受けられる。共通テストを受験し，国公立大学への進学を希望する，あるいは共通テスト利用で有名私立大学への進学を希望している。

## 5 年間指導計画における位置付け

学年	第1学年	第2学年
単元(題材)名	歴史総合「大航海時代」 「世界の工場イギリス」	世界史探究 「イギリスの覇権」
主な内容	スペイン・ポルトガルの台頭 イギリスの発展と資本主義 社会の完成	世界システム論で第一学年の学習内容を異なる見方で再度検討を行う。

## 6 単元(題材)の指導計画と評価計画(全2時間扱い)

時	★目標 ○学習内容 ・学習活動	■評価規準(評価方法)
第1時	★世界市場の完成を復習しよう	■ノート回収し、自分の言葉で説明できているかを評価する。
	○スペイン・ポルトガルがアジア航路を発見した歴史的意義は何だろう ・銀を中心に世界市場が形成されたことを確認する ○「世界の工場」イギリスはどのようにして発展したのだろうか。 ・イギリスが世界市場をどのようにコントロールしたかを確認する。	
第2時	★世界システム論の考え方をを用いて世界市場を説明しよう	■ノート、フォームで理解度を確認する。
	○第一時の学習内容を、世界システム論を用いて再構築する。 ・世界システム論の説明を受け、その考え方を実際に用いて歴史を観る。	

## 7 指導に当たって

### (1) 論理的思考(ロジカル・シンキング)

「銀」を中心とする国際関係について、論理的に説明することができる。

### (2) 批判的思考(クリティカル・シンキング)

従来の「時系列」という歴史の考え方だけでなく、「世界システム」という新しい歴史の考え方に基づいて、歴史を見ることができる。

### (3) 水平思考(ラテラル・シンキング)

本時で学習する「世界システム」という考え方を、現代社会に当てはめて考察することができる。

## 8 本時（全2時間中の2時間目）

### (1)本時の目標

国際分業体制が世界に与えた影響を，世界システム論の考え方をを用いて説明することができる

### (2)本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	・指導上の留意点	■評価規準（評価方法）
導入 (10分)	○p154 の図から何が読み取れるだろう ・商業革命の図から，垂直的分業になっていることをおさえる	・読み取れることは何でも自由に読み取る ・	・机間巡視
展開 (30分)	○大航海時代は世界にどのような影響を与えただろう。 ・大航海時代が与えた銀の影響を説明する ・世界システム論の説明を行い，大航海時代でモデル化を行う。 ○世界の工場イギリスと，スペイン・ポルトガルの事例を比較する	・モデル化は生徒自身に行わせる。  ・商品や国が変わってもシステムの大枠に変化がないという特徴を考えさせる	・机間巡視  ・授業後のノートで評価
まとめ (10分)	○国際分業体制は世界にどのような影響を与えたのだろうか ○現代に世界システム論を当てはめて考えられるだろうか，自分の考えを説明せよ。	・目標に答える  ・現代社会に当てはめて考える	・授業後のノートで評価

### (3)板書計画

図から読み取れることなど，生徒の発言中心に板書。
--------------------------